

# 兵庫県下の経済動向

平成26年3月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、持ち直している。個人消費は持ち直しつつあり、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。また、住宅投資や公共投資は増加している。一方、設備投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が8か月ぶりに前年を上回った。

乗用車販売は、普通乗用車、軽乗用車、普通貨物車、小型貨物車、軽貨物車およびバスが増加し、7か月連続して前年を上回った。

家電販売は、下げ止まりつつある。

設備投資は、非製造業が増加を見込んでいるものの、製造業は減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、分譲住宅が減少したが、持家、貸家、給与住宅が増加し、全体では6か月連続して前年を上回った。

公共工事請負金額は、国で大幅減となるも、その他の団体、独立行政法人等、兵庫県、神戸市を除く市町で著増、神戸市で大幅増となったことから、2か月ぶりに前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国、中国を含むアジア、米国およびEU向けが増加し、12か月連続して前年を上回った。また、輸入については14か月連続して前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、4か月連続して前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数も前年を上回った。

また、所定外労働時間および常用労働者数は前年を上回ったが、一人当り名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

12月の兵庫DIは、先行指数85.7%、一致指数88.9%、遅行指数50.0%となった。

12月の兵庫CIは、先行指数102.2、一致指数96.8、遅行指数102.4となった。

兵庫DIは、先行指数が4か月連続で50%を上回り、一致指数が4か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が4か月連続で前月差増、一致指数は4か月連続で前月差増、遅行指数は10か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は、改善を示している。」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

1月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は107.5、前月比3.0%増加。出荷指数は96.7、同2.3%増加。在庫指数は106.9、同6.6%減少。在庫率は286.9、同166.9%増加。生産指数は2か月連続で上昇、出荷指数は2か月ぶりに上昇、在庫指数は2か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産は10.1%増で3か月ぶりに低下、出荷は8.5%増で3か月ぶりに低下、在庫は4.9%減で3か月連続で低下した。

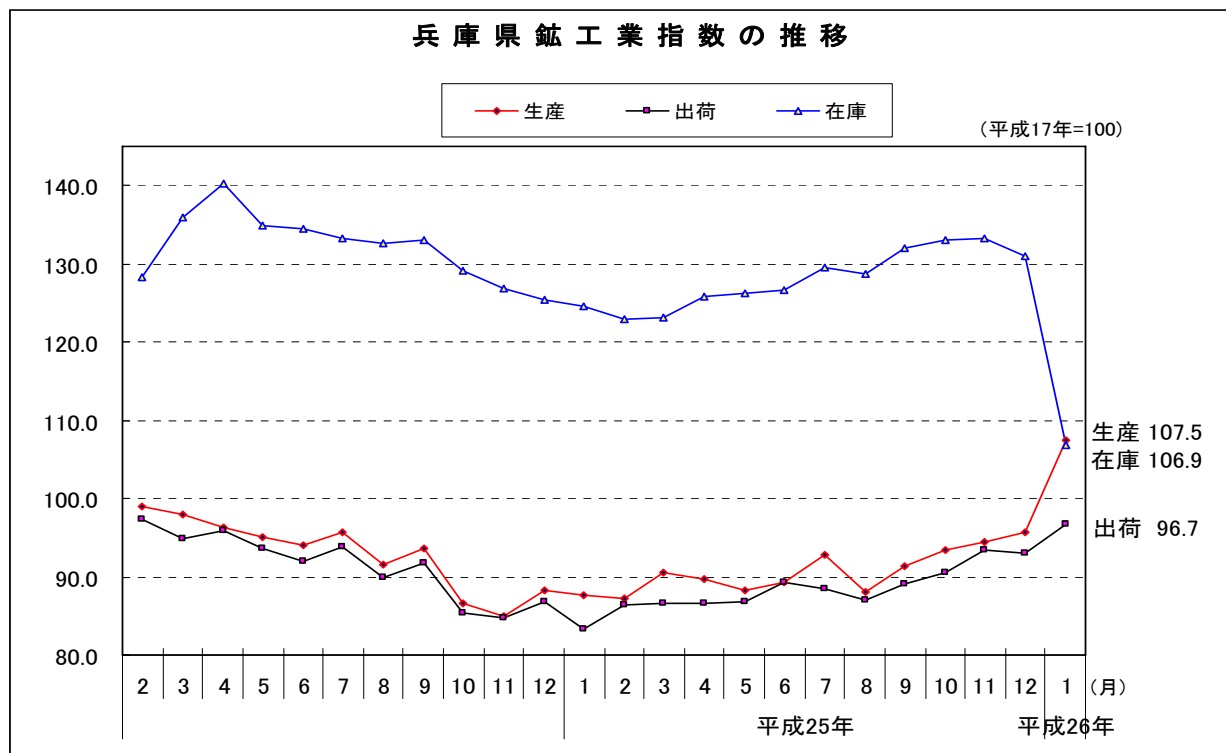
主要業種の生産動向を対前月比でみると、ボイラ部品等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が15.7%、機体部品等の「輸送機械工業」が13.3%、医薬品等の「化学工業」が8.4%、ファインセラミックス(構造材)等の「窯業・土石製品工業」が4.4%、亜鉛めっき鋼板等の「鉄鋼業」が1.4%各々上昇し、一般用タービン発電機等の「電気機械工業」が14.4%、パン類等の「食料品工業」が2.7%、ガス風呂がま等の「金属製品工業」が2.3%、携帯電話等の「情報通信機械工業」が2.0%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「持ち直しの動きがみられる」とした。

1月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	107.5	3.0	99.2	10.1
出 荷	96.7	2.3	88.1	8.5
在 庫	106.9	▲ 6.6	111.5	▲ 4.9
在 庫 率	286.9	166.9	311.9	▲ 25.5

資料：兵庫県企画県民部統計課



## 1月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業種	指数	対前月比 増減%	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼	107.4	1.4	上昇	亜鉛めっき鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材、 その他の金属めっき鋼板、粗鋼
			低下	普通鋼鋼帯、H形鋼、鋳鉄管、普通鋼めっき鋼材（線類）
金属製品	100.2	▲ 2.3	上昇	超硬チップ、粉末や金製機械材料、橋りょう、鋼索
			低下	ガス風呂がま、PC鋼より線、ガス温水給湯暖房機、 18リットル缶
はん用・ 生産用・ 業務用 機械	109.6	15.7	上昇	ボイラ部品、圧縮機、蒸気タービン部品、 はん用内燃機関
			低下	一般用蒸気タービン、建設用クレーン、油圧ポンプ、 プレイバックロボット
電気機械	107.4	▲ 14.4	上昇	リチウムイオン蓄電池、電気がま、クッキングヒーター、 アーク溶接機
			低下	一般用タービン発電機、非標準油入り変圧器（10000kVA以上）、電力変換装置、太陽電池モジュール
情報通信 機械	99.1	▲ 2.0	上昇	ノート型パソコン、カーナビゲーション、固定通信装置、 テレメータ・テレコントロール
			低下	携帯電話、搬送装置、カーオーディオ、 無線位置測定装置
輸送機械	117.6	13.3	上昇	機体部品、内燃機関電装品、駆動伝導・操縦装置部品、 懸架制動装置部品
			低下	旅客車、船用ディーゼル機関、発動機部品、 シャシー・車体部品
窯業・ 土石製品	108.1	4.4	上昇	ファインセラミックス（構造材）、セメント、 ガラス製容器類、プレストレストコンクリート製品
			低下	ほうろう鉄器製品、遠心力鉄筋コンクリート管、道路用 コンクリート製品、遠心力鉄筋コンクリートパイプ
化学	112.3	8.4	上昇	医薬品、溶剤系合成樹脂塗料、酸化亜鉛、 水系合成樹脂塗料
			低下	化粧品、シンナー、自動車排気ガス浄化用触媒、 無水酢酸
食料品	95.6	▲ 2.7	上昇	しょうゆ、ビール類、肉製品、アイスクリーム
			低下	パン類、めん類、配合飼料、塩

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた2月の県内百貨店売上高は、前年同月比2.8%増の147億78百万円で、8か月ぶりに前年実績を上回った。高額品などが好調だった大丸が全体をけん引した。

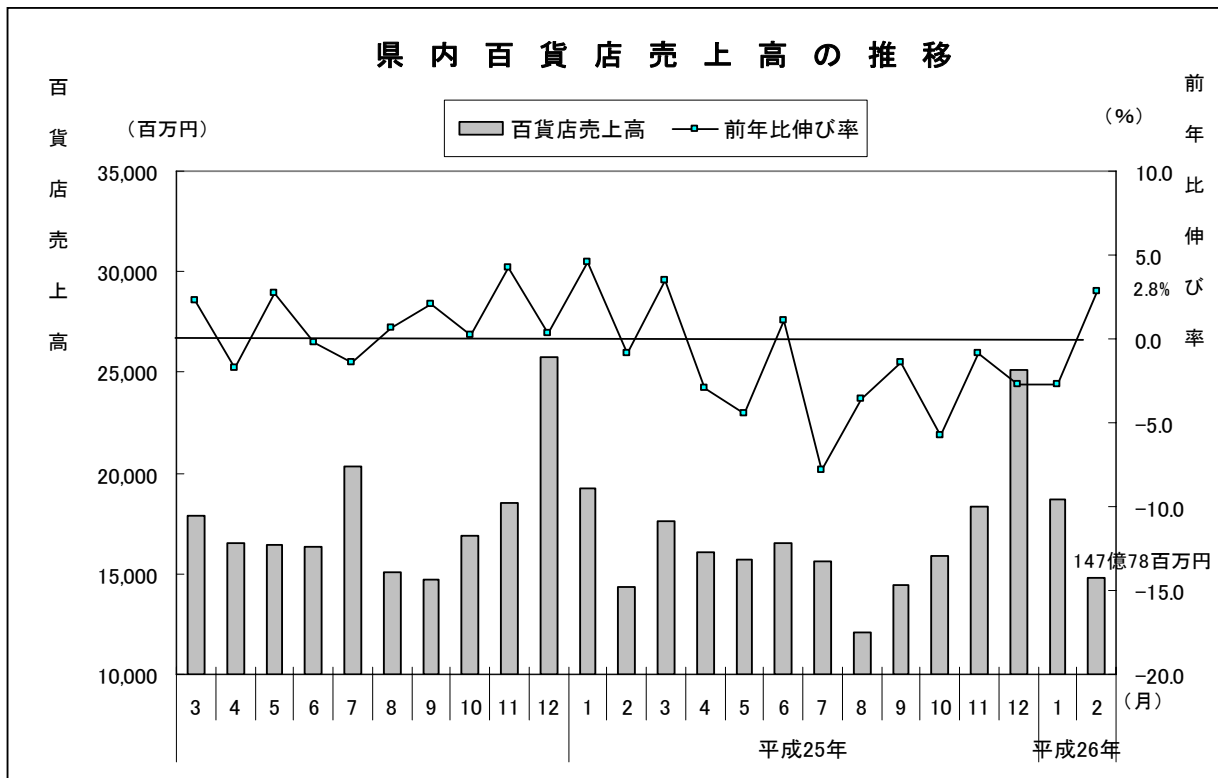
神戸地区は4.2%増。大丸は7.5%増となり、海外高級ブランドが2月中旬に値上げしたため、駆け込み需要があった。バレンタイン商戦が前年を上回り、時計など的高額品も堅調だった。

姫路地区は衣料品を中心に苦戦し、3.2%減だった。

### 2月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	503(▲7.1)	140(▲19.5)	644(▲10.1)
婦人服・洋品	3,631( 11.8)	514(▲10.0)	4,145( 8.6)
子供服・洋品	261( 6.3)	65(▲8.7)	327( 2.9)
身の回り品	1,169(▲3.2)	253( 7.1)	1,422(▲1.6)
家庭用品	561( 10.6)	137( 3.2)	699( 9.0)
食料品	3,778(▲1.3)	816( 1.8)	4,595(▲0.8)
雑貨	1,724( 7.6)	344( 2.0)	2,068( 6.6)
その他	637( 7.4)	236(▲10.2)	874( 1.9)
計	12,268( 4.2)	2,510(▲3.2)	14,778( 2.8)

\* 単位百万円、百万円未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会  
 ※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内2月の乗用車新車登録台数は20,071台、前年同月比18.5%増と7か月連続して前年同月の実績を上回った。

2月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は7,517台(前年同月比31.9%増)、小型乗用車は5,328台(同1.7%減)、軽乗用車は7,226台(同24.1%増)、乗用車合計で20,071台(同18.5%増)となった。

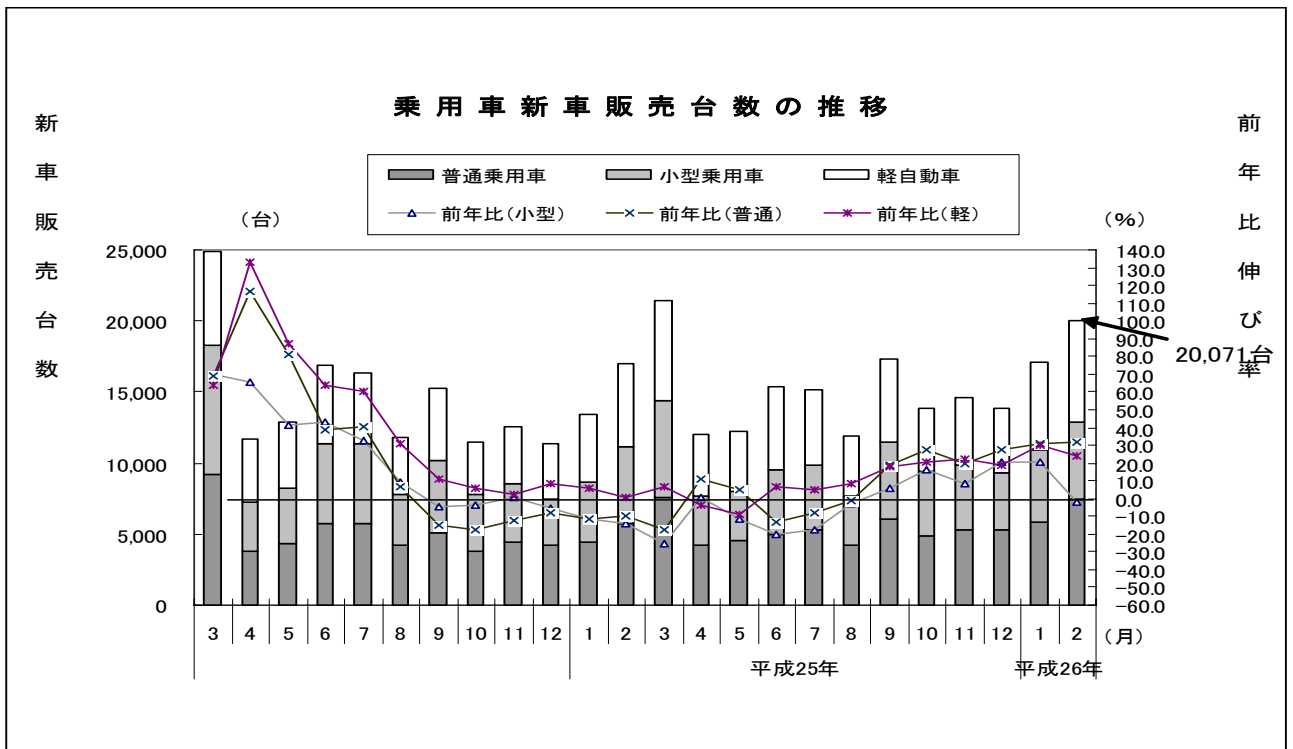
また貨物車等では、普通貨物車は342台(同66.8%増)、小型貨物車688台(同15.2%増)、軽貨物車は1,406台(同4.4%増)、バスは54台(同107.7%増)となった。

### 2月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	7,517	31.9	160,326	27.9
小型乗用車	5,328	▲ 1.7	139,681	2.5
軽乗用車	7,226	24.1	190,501	25.9
<b>乗用車合計</b>	<b>20,071</b>	<b>18.5</b>	<b>490,508</b>	<b>18.8</b>
普通貨物車	342	66.8	13,092	21.7
小型貨物車	688	15.2	22,001	14.8
軽貨物車	1,406	4.4	38,490	14.4
<b>貨物車合計</b>	<b>2,436</b>	<b>13.4</b>	<b>73,583</b>	<b>15.7</b>
バス	54	107.7	1,076	17.7
<b>登録車総計</b>	<b>22,561</b>	<b>18.0</b>	<b>565,167</b>	<b>18.4</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が3月13日に発表した機械受注統計によると、平成26年1月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年12月前月比3.1%減の後、26年1月は同12.6%増の2兆3,543億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、12月前月比15.7%減の後、1月は同13.4%増の8,435億円となった。

内訳をみると、製造業が同13.4%増の3,318億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同12.1%増の5,110億円であった。

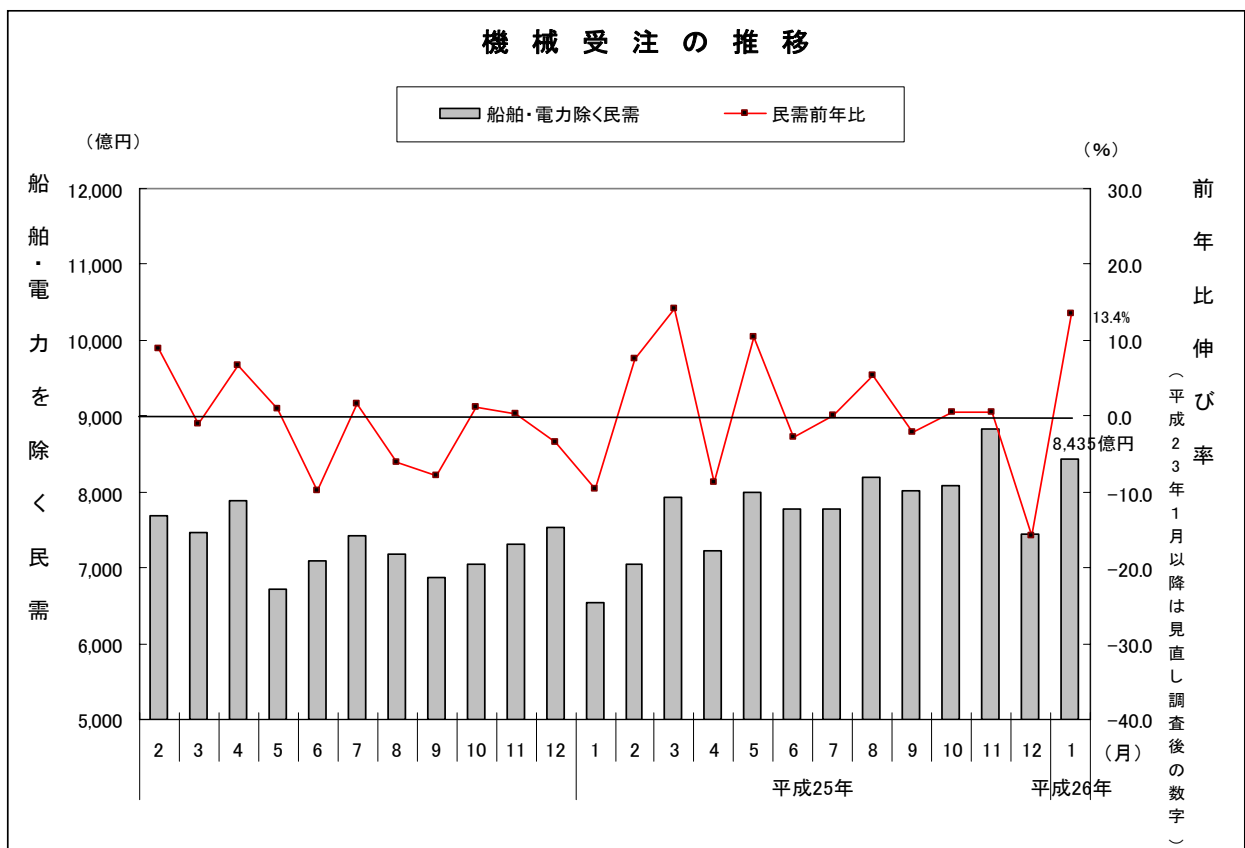
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、非鉄金属(124.4%増)、石油製品・石炭製品(75.2%増)、食品製造業(61.6%増)、化学工業(35.4%増)、電気機械(29.1%増)等の9業種で、「その他輸送用機械」(51.4%減)、パルプ・紙・紙加工品(45.5%減)、造船業(12.2%減)、自動車・同付属品(10.9%減)等の6業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(101.0%増)、金融業・保険業(42.5%増)、運輸業・郵便業(25.9%増)、農林漁業(21.4%増)、通信業(15.1%増)等の9業種で、不動産業(30.8%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(5.9%減)等の3業種は減少となった。

兵庫県下においては、2013年度設備投資額は、製造業が減少を見込んでいるものの、非製造業は増加を見込んでおり、全産業では減少計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年12月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比▲3.5% (製造業▲4.4%、非製造業+0.3%)





機械受注統計 (平成26年1月分)

	25年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	25年 10月 実績	11月 実績	12月 実績	26年 1月 実績
受注総額	60,410 ( 7.1) [ -5.3]	62,406 ( 3.3) [ 4.7]	65,493 ( 4.9) [ 21.4]	65,371 ( -0.2) [ 15.9]	22,896 ( -4.6) [ 24.6]	21,573 ( -5.8) [ 8.9]	20,902 ( -3.1) [ 15.1]	23,543 ( 12.6) [ 28.8]
民需	25,477 ( 0.5) [ -2.0]	26,754 ( 5.0) [ 2.5]	28,077 ( 4.9) [ 9.9]	29,014 ( 3.3) [ 14.0]	10,062 ( 7.0) [ 20.7]	9,931 ( -1.3) [ 15.7]	9,021 ( -9.2) [ 7.7]	10,669 ( 18.3) [ 32.6]
〃 (Ex 船・電)	21,539 ( -0.0) [ -4.6]	22,999 ( 6.8) [ 6.4]	23,986 ( 4.3) [ 9.6]	24,339 ( 1.5) [ 13.3]	8,072 ( 0.6) [ 17.8]	8,826 ( 9.3) [ 16.6]	7,441 ( -15.7) [ 6.7]	8,435 ( 13.4) [ 23.6]
製造業	8,407 ( -1.7) [ -12.1]	8,875 ( 5.6) [ -4.2]	9,745 ( 9.8) [ 8.2]	9,802 ( 0.6) [ 14.8]	3,338 ( -0.2) [ 21.9]	3,537 ( 6.0) [ 18.9]	2,926 ( -17.3) [ 5.5]	3,318 ( 13.4) [ 24.0]
非製造業 (Ex 船・電)	13,072 ( -3.1) [ 2.8]	14,701 ( 12.5) [ 14.1]	14,102 ( -4.1) [ 10.4]	15,158 ( 7.5) [ 12.4]	5,095 ( 11.5) [ 15.1]	5,506 ( 8.1) [ 15.1]	4,557 ( -17.2) [ 7.6]	5,110 ( 12.1) [ 23.1]
官公需	6,949 ( 0.1) [ -6.9]	8,668 ( 24.7) [ 7.4]	9,413 ( 8.6) [ 34.0]	7,955 ( -15.5) [ 14.4]	2,820 ( -26.2) [ 24.1]	2,486 ( -11.9) [ 8.8]	2,649 ( 6.5) [ 10.8]	2,280 ( -13.9) [ 13.5]
外需	23,670 ( 11.4) [ -8.8]	24,837 ( 4.9) [ 7.8]	27,548 ( 10.9) [ 34.7]	24,998 ( -9.3) [ 18.4]	8,830 ( -16.0) [ 29.7]	7,750 ( -12.2) [ 1.3]	8,417 ( 8.6) [ 25.0]	8,645 ( 2.7) [ 29.8]
代理店	3,000 ( 13.3) [ 4.2]	2,643 ( -11.9) [ -4.1]	2,852 ( 7.9) [ 4.6]	3,077 ( 7.9) [ 16.2]	1,054 ( 13.2) [ 21.9]	996 ( -5.5) [ 11.9]	1,027 ( 3.0) [ 15.3]	1,064 ( 3.7) [ 18.9]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内1月の新設住宅着工戸数は、総数で2,504戸(前年同月比16.2%増)となり、分譲住宅が減少したが、持家、賃家、給与住宅が増加し、全体では6か月連続して前年を上回った。また、前月比では1,734戸の減少となった。

### 1月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	811	10.9	24,955	5.9
・分譲住宅	896	▲ 4.3	22,580	8.6
貸家系・貸家	788	64.2	29,953	21.5
・給与住宅	9	12.5	355	24.6
<b>総数</b>	<b>2,504</b>	<b>16.2</b>	<b>77,843</b>	<b>12.3</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

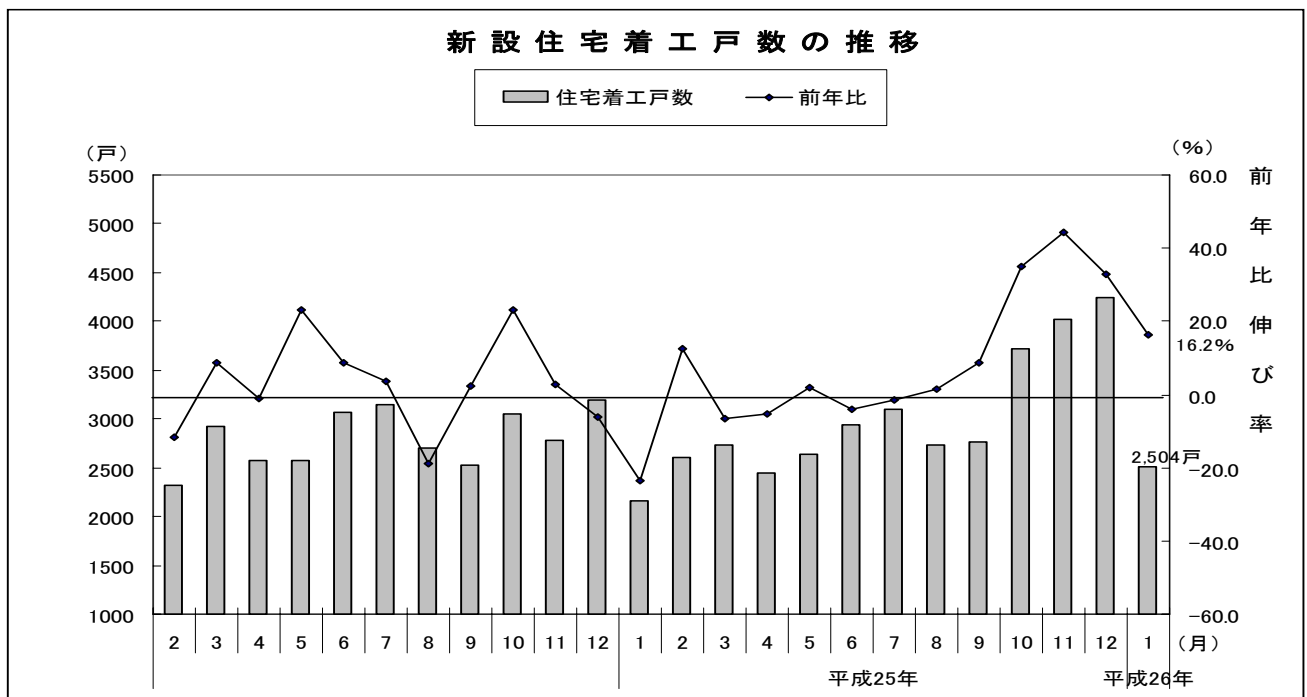
### 12月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	569	503	391	411	164	293	93	23	23	34	2,504
前月比	-59.9	-20.0	-41.6	-20.2	37.8	-42.5	-43.3	-45.2	-75.5	-55.3	-40.9

資料：兵庫県住宅政策課

平成26年1月の新設住宅着工累計は、総数で2,504戸、前年同期比349戸の増加となった。利用関係別では「持家」が811戸(前年同期比10.9%増)、「貸家」が788戸(同64.2%増)、「分譲住宅」が896戸(同4.3%減)、「給与住宅」が9戸(同12.5%増)となった。



## 【公共工事】

2月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は253件で前年同月比10.0%の増加、請負金額は193億円で同60.5%の増加となり、金額ベースでは2か月ぶりに前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」は前年同月比▲43.7%で減少となったが、「その他の団体」同587.8%、「独立行政法人等」同159.6%、「兵庫県」同80.1%、「神戸市を除く市町」同72.1%、「神戸市」同38.8%が増加となり、前年同月を上回った。

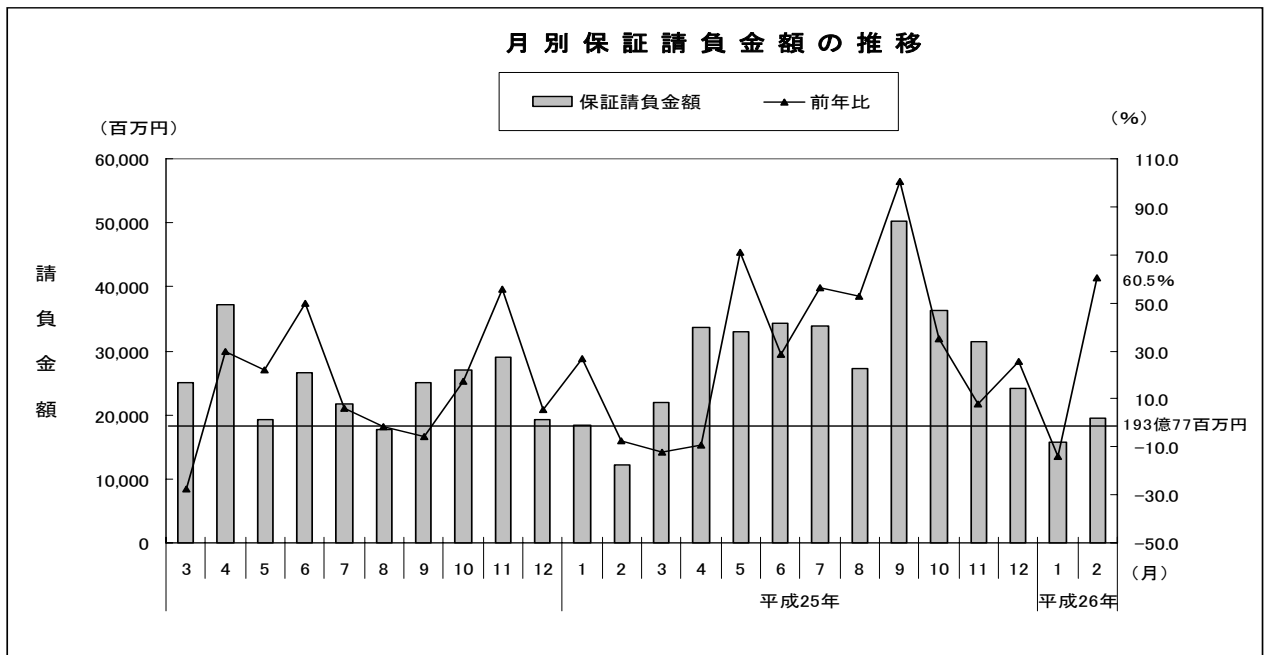
地域別(金額ベース)では、神戸市(前年同月比135.7%)、但馬(同110.2%)、西播磨(同101.7%)、阪神南(同35.0%)、北播磨(同23.3%)、淡路(同7.7%)、丹波(同0.1%)が増加となり、阪神北(同▲28.1%)、東播磨(同▲28.0%)、中播磨(同▲8.1%)が減少となった。

### 2月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	11(▲35.3)	2,078(▲43.7)	八鹿日高道路門前トンネル工事 柴山港柴山地区外防波堤(西)築造工事
独立行政法人等	11(▲8.3)	4,732(159.6)	新名神高速道路猪名川西工事 新神戸トンネル天井板撤去その他工事(25 神管)
兵庫県	103(2.0)	5,955(80.1)	県住第22号県営明石松が丘住宅第4期建築工事 病企第3号県立尼崎・塚口統合新病院第1期電気設備工事
神戸市	43(16.2)	1,505(38.8)	
神戸市を除く市町	71(22.4)	3,266(72.1)	公下第5号豊岡市下水処理場総合監視電気設備工事 養教第9号養父市学校給食センター建設工事 水道第11号福田水源地整備工事(機械・電気)
その他の団体	14(180.0)	1,839(587.8)	尼崎市東部浄化センター水処理設備工事その2
合計	253(10.0)	19,377(60.5)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成26年2月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,548億円、前年同月比10.6%の増加で、総額ベースで12か月連続して増額となった。輸出は、自動車などが減少したものの、科学光学機器などが増加した。一方、輸入は、衣類及び同付属品などが減少したものの、プラスチックなどが増加した。

輸出は4,442億円(前年同月比15.0%増)と12か月連続で増加した。

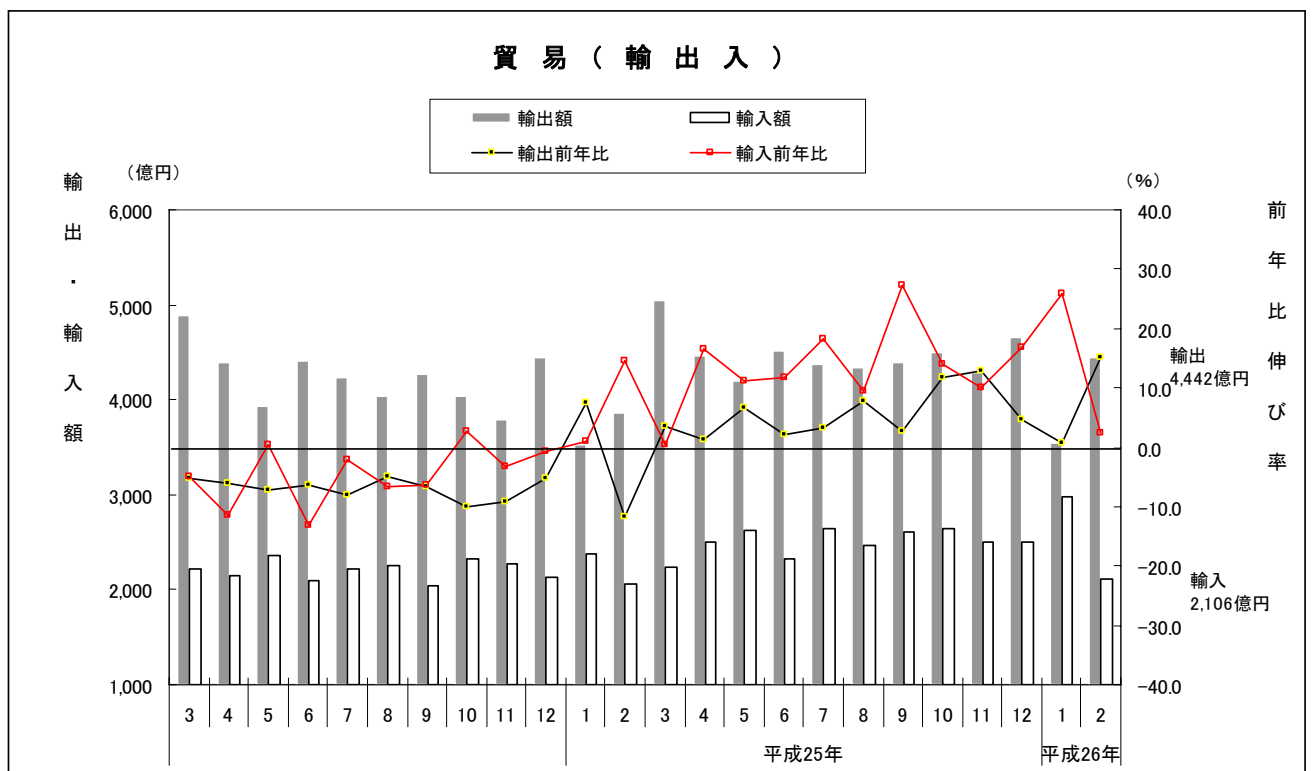
主要品目では、プラスチック(前年同月比19.9%増、14か月連続プラス)、原動機(同16.2%増、3か月ぶりにプラス)、織物用糸及び繊維製品(同11.8%増、2か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同4.2%増、2か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比46.8%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同19.0%増、2か月ぶりにプラス)、米国(同12.9%増、20か月連続プラス)、EU(同5.7%増、9か月連続プラス)が増加した。

輸入は2,106億円(前年同月比2.3%増)と14か月連続で増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比11.3%増、6か月連続プラス)が増加し、たばこ(前年同月比38.6%減、10か月連続マイナス)、衣類および同付属品(同25.8%減、4か月ぶりにマイナス)、有機化合物(同4.7%減、4か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比5.8%増、15か月連続プラス)、米国(同4.3%増、11か月連続プラス)が増加し、中国(前年同月比10.2%減、11か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同0.9%減、11か月ぶりにマイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

2月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.2(平成22年=100)となり、前月比は0.1%下落、前年同月比は、1.5%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月比は変わらず、前年同月比は1.3%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.0となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.6%上昇となった。

前月からの動きを見ると、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が2.1%、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が0.4%、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.2%、それぞれ上昇した。

しかしながら、野菜・海藻などの値下がりにより「食料」が0.8%、家事用消耗品などの値下がりにより「家具・家事用品」が1.2%、理美容用品の値下がりにより「諸雑費」が0.5%、設備修繕・維持の値下がりにより「住居」が0.1%、医薬品・健康保持用摂取品などの値下がりにより「保健医療」が0.1%、それぞれ下落した結果、総合指数では0.1%の下落となった。

### 2月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服及履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.2	98.7	101.2	114.6	96.0	96.7	96.8	100.1	101.0	94.1	106.0	100.2	99.0
前月比	-0.1	-0.8	-0.1	0.2	-1.2	2.1	-0.1	0.0	0.0	0.4	-0.5	0.0	0.1
前年同月比	1.5	1.8	-0.7	9.2	-0.1	0.1	-0.3	1.3	0.8	1.8	3.5	1.3	0.6

(注)平成22年=100

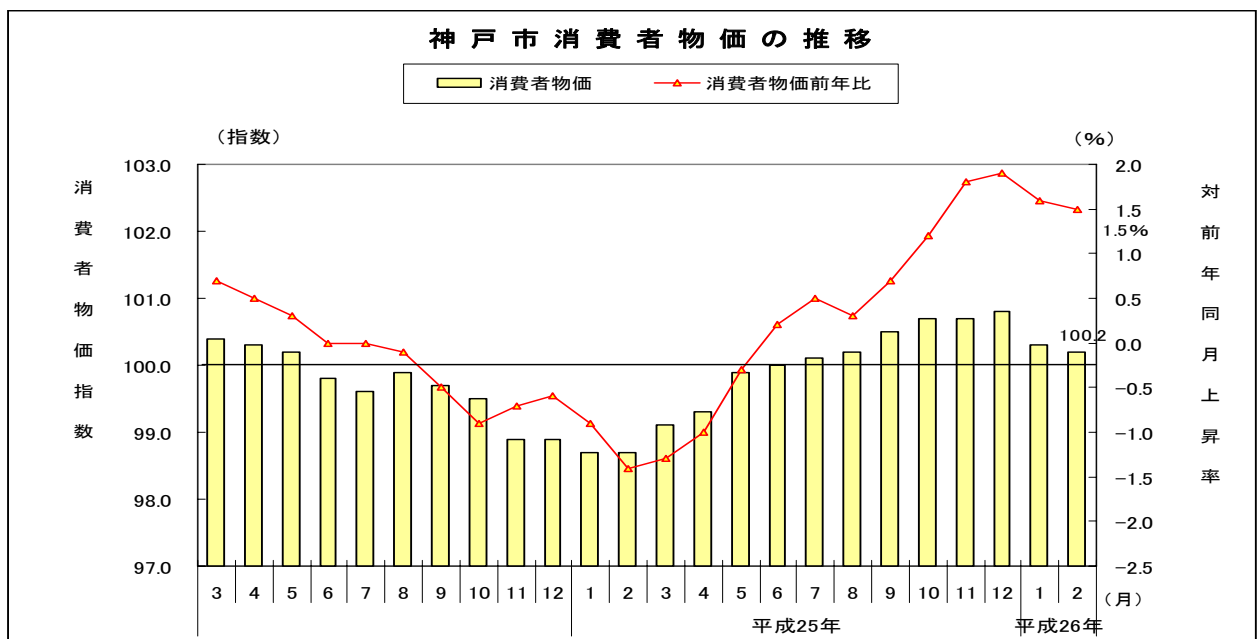
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

衣料 (+ 4.1%)・・・婦人上着、婦人スラックス(冬物)、スカート(秋冬物)  
 教養娯楽サービス (+ 0.6%)・・・放送受信料(ケーブル)、宿泊料、テーマパーク入場料

#### ○対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (▲ 5.8%)・・・ほうれんそう、ブロッコリー、ねぎ  
 家事用消耗品 (▲ 1.8%)・・・台所用洗剤、トイレトペーパー、ティッシュペーパー



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が3月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2014年2月の企業物価指数は次のとおり。

### 2月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.8	▲0.2	1.8
輸 出 物 価	109.2	▲1.3	3.1
輸 入 物 価	127.8	▲1.8	6.3

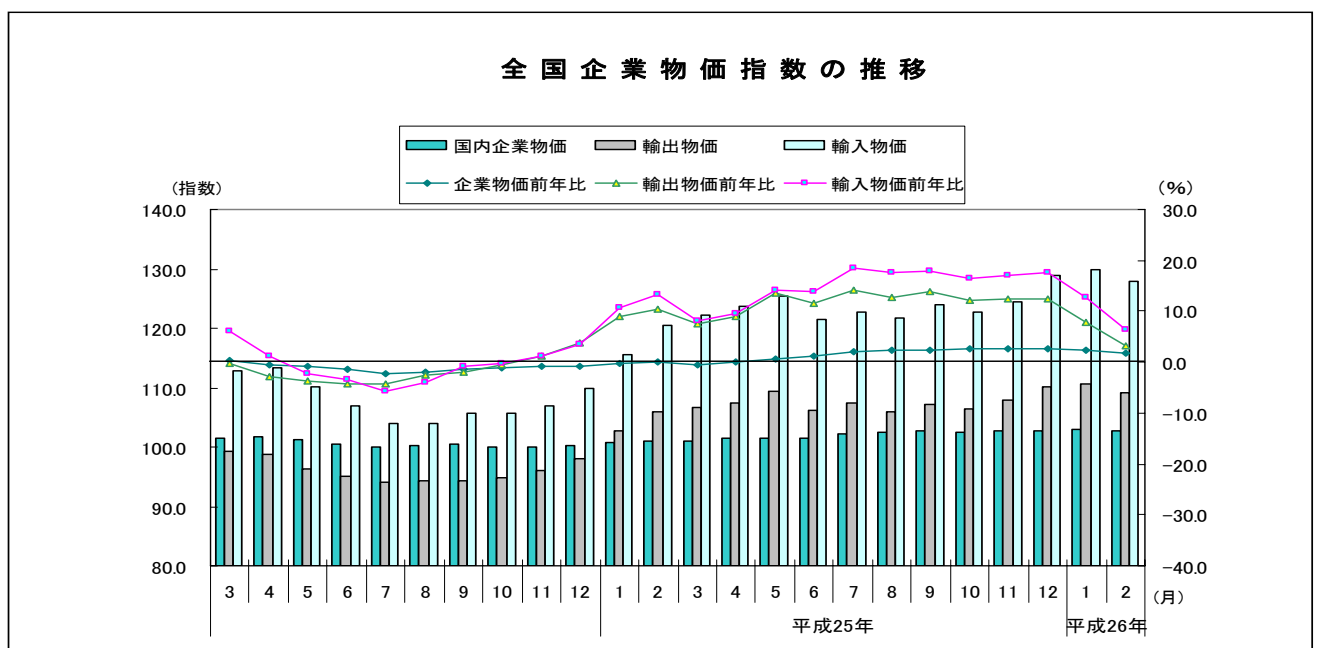
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、農林水産物(前月比+0.7%<豚肉など>)、電力・都市ガス・水道(同+0.4%<大口都市ガスなど>)が上昇したが、スクラップ類(同-4.5%<鉄くず>)、石油・石炭製品(同-1.4%<軽油など>)、非鉄金属(同-0.6%<銅地金など>)等が下落し、全体では前月比0.2%の減少となった。

2月は前年同月比1.8%増の102.8で、11ヶ月連続でプラスとなったが、円安効果のはく落や国際商品市況の下落で、上昇率は1月の2.5%から縮小した。前月比では0.2%低下し、4ヶ月ぶりにマイナスに転じた。ガソリンや鉄スクラップなどの下落が響いた。

輸出物価は、その他産品・製品(前月比-1.9%<ジェット燃料油など>)、化学製品(同-1.6%<パラキシレンなど>)、電気・電子機器(同-1.4%<モス型メモリ集積回路など>)、はん用・生産用・業務用機器(同-0.6%<変速機>)が下落し、円ベースでは前月比1.3%の減少(前年同月比+3.1%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比-2.7%<原油など>)、その他産品・製品(同-1.6%<天然ゴム>)、化学製品(同-1.0%<医薬品中間物など>)、食料品・飼料(同-0.5%<コーヒー豆など>)等が下落し、円ベースでは前月比1.8%の減少(前年同月比+6.3%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内1月の新規求人数(全数)は、32,345人(前年同月比11.3%増)で、7か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は76,699人(同11.5%増)で45か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比12.6%増で7か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同8.0%増で2か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同31.0%増で3か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比8.6%増)、製造業(同27.7%増)、運輸業、郵便業(同11.9%増)、卸売業、小売業(同2.9%増)、学术研究、専門・技術サービス業(同33.8%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同0.3%増)、医療、福祉(同15.5%増)、サービス業(同13.1%増)は前年を上回り、宿泊業、飲食サービス業(同6.2%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

1月の新規求職申込件数(全数)は23,582件(前年同月比4.6%減)で6か月連続して前年を下回った。

また、月間有効求職者数(全数)は84,302人(同6.4%減)で44か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比6.4%減で6か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.1%増で4か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比17.8%減で5か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比9.2%増で5ヶ月連続して増加した。事業主都合離職者は同21.6%減で12か月連続、自己都合離職者は同5.9%減で4か月連続、自営・他は同21.9%減で32か月連続、無業者は同9.1%減で25か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、22,590人(前年同月比12.4%減)で、12か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

1月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.31倍(前月比0.02ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率については0.83倍(前月比0.01ポイント増)で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

1月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.7%、完全失業者数(原数値)は238万人(前年同月比35万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.2%(前年同月比0.9ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は43万人(前年同月比10万人減)となった。

### 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
26年1月	32,345	2,492	3,557	473	1,742	4,863	181	632	989	2,198	1,177	8,721	3,577
前年同月比	11.3	8.6	27.7	22.9	11.9	2.9	▲12.6	8.8	33.8	▲6.2	0.3	15.5	13.1

(単位：人、前年同月比増減率：%)

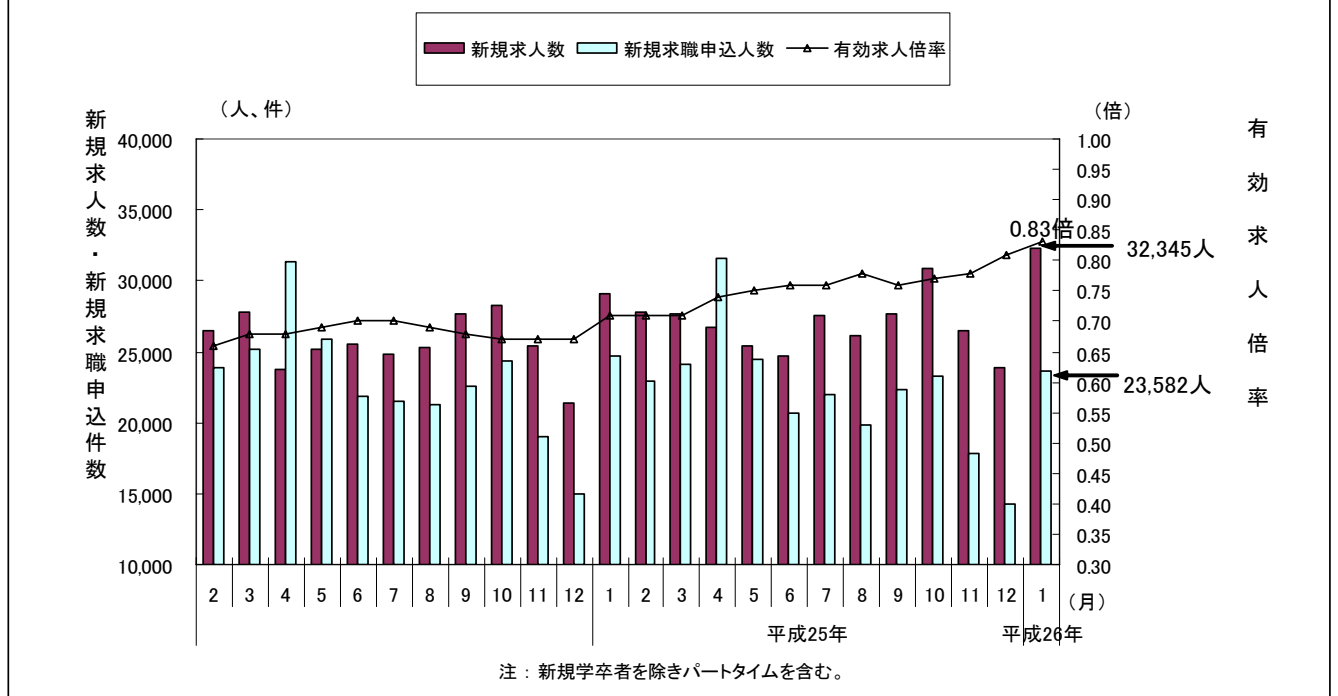
資料：兵庫労働局

### 雇用・賃金の推移

項目・年月	12/10-12	13/1-3	13/4-6	13/7-9	12/10-12	13/12	13/11
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.69	0.71	0.74	0.77	0.80	0.82	0.83
新規求人数 (原数値、前年比%)	5.9	3.8	3.3	4.8	8.3	11.4	11.3
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	▲6.0	▲4.0	▲2.8	1.8	5.8	6.6	11.0
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	▲0.6	▲1.1	▲0.2	▲0.4	0.1	0.3	0.4
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.0	0.1	0.9	▲1.6	▲0.8	▲2.9	▲0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部

### 県下求人・求職状況の推移





## 【信用保証】

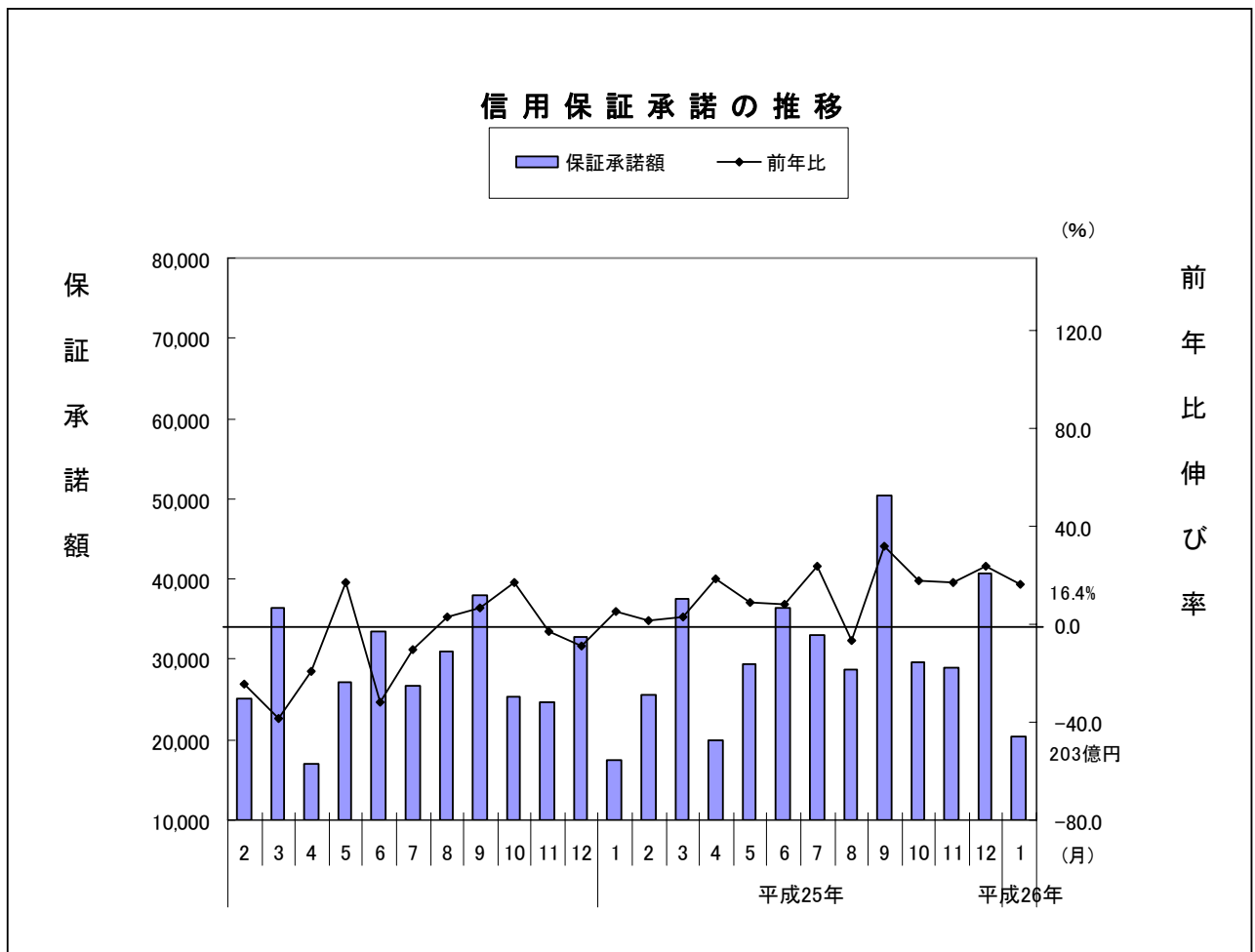
兵庫県信用保証協会による1月の保証承諾実績は、件数で1,261件(前年同月比15.8%増)、金額は203億円(同16.4%増)となり、件数、金額ともに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金18,560百万円(前年同月比16.1%増)、設備資金491百万円(5.2%減)となり、運転資金は前年同月を上回り、設備資金は前年同月を下回った。

業種別(金額ベース)では、「卸売業」3,841百万円(前年同月比62.6%増)、「運送・倉庫業」967百万円(同40.4%増)、「製造業」4,638百万円(同35.3%増)、「飲食店」359百万円(同28.1%増)、「サービス業」2,510百万円(同19.1%増)で前年同月を上回り、「小売業」2,242百万円(同4.8%減)、「建設業」4,824百万円(同6.5%減)、「不動産業」826百万円(同11.5%減)等で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、111件(前年同月比19.0%減)、7億73百万円(同52.4%減)となった。

1月末の保証債務残高は、102,127件(前年同月比6.1%減)、1兆1,770億72百万円(同6.2%減)となった。



## 【金融】

1月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	146,589	2.2	54,685	▲ 1.0
地方銀行	25,177	4.6	21,843	5.8
第二地方銀行	32,561	2.7	20,734	3.9
信用金庫	80,537	1.7	37,826	1.1
その他	18,197	5.3	17,250	0.8
計	303,061	2.5	152,338	1.3

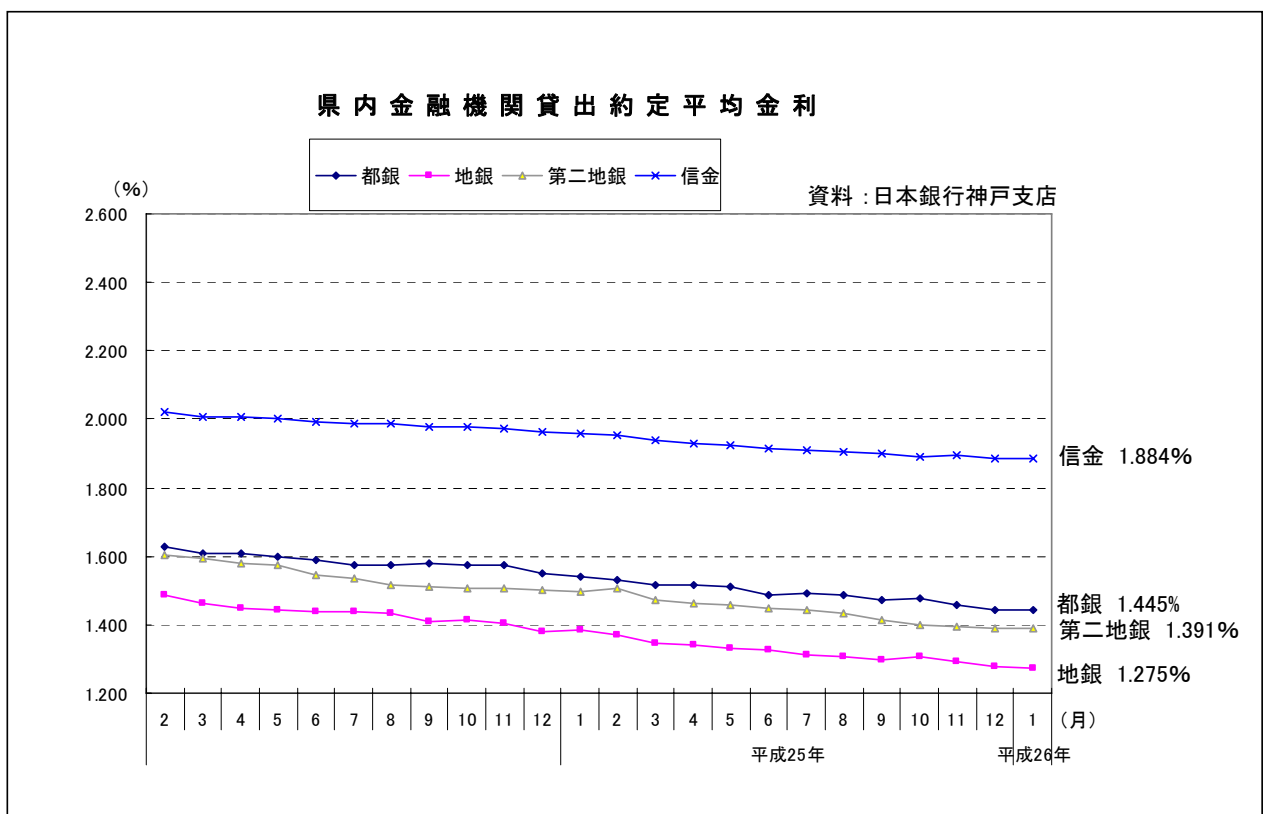
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

1月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.5%)

1月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+1.3%)

1月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(1月末水準 1.563%、前月比▲0.001%ポイント)。



## 【倒 産】

県内2月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は43件で前年同月比8.51%の減少、負債総額は33億74百万円で同3.37%の減少となった。

倒産件数は、前月比7件(19.44%)の増加。前年同月比では4件(8.51%)の減少となった。また、2月単月では過去10年間(平成17年以降)で、平成22年と共に最も少ない件数となった。

負債総額は10億円以上の大型倒産がなく、件数の減少とで、2月単月では過去10年間で最も少ない金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が34件(全体の79.1%)を占めた。

業種別(件数)では、「建設業」が13件(前年前月比4件増加)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が28件発生し、全体の65.1%を占めた。

「産業別」では、「建設業」が13件でトップとなった。

県下の企業倒産は、2月単月では件数、負債総額ともに過去10年間においては最少となり、引き続き底這い状態にあると言える。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、昨年3月末をもって期限切れを迎えたが、金融庁の指導の下で金融機関の貸し出し姿勢に大きな変化はなく、多様な事業再生支援も倒産抑制に大きく寄与していると見られる。4月の消費税率引き上げ後の状況は、慎重に見極めなければならないが、今しばらく倒産件数は小幅な増減を繰り返しつつ、底這い推移が続くものと見られる。

2月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	3	1	4	0	建設業	13	9	4	9	4
過小資本	1	1	0	3	-2	製造業	4	6	-2	4	0
連鎖倒産	3	1	2	1	2	卸売業	9	6	3	5	4
赤字累積	6	4	2	6	0	小売業	9	5	4	10	-1
販売不振	28	26	2	31	-3	情報通信業	2	0	2	1	1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	6	7	-1	12	-6
その他	1	1	0	2	-1	不動産・運輸業他	0	3	-3	6	-6
合計	43	36	7	47	-4	合計	43	36	7	47	-4

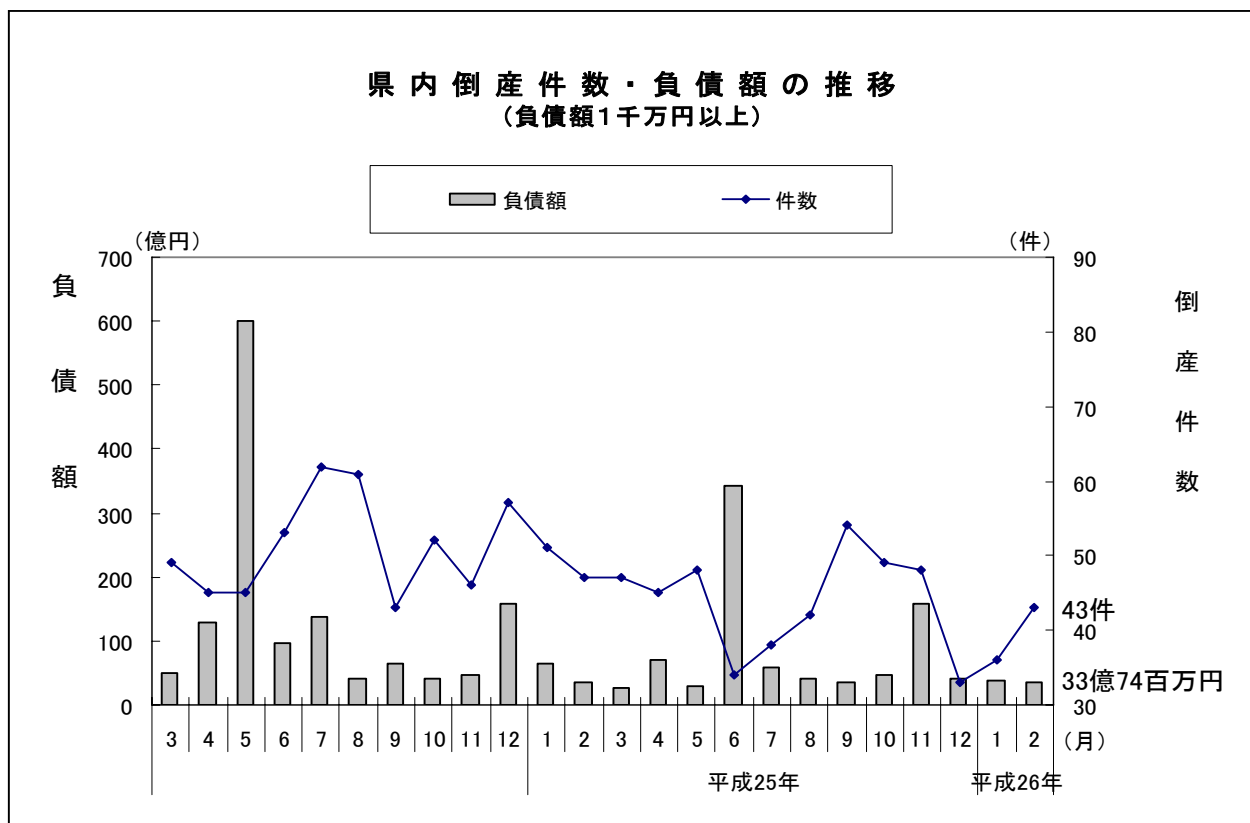
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1
25年 11月	48	20	15	3	8	0	0	2
25年 12月	33	14	6	5	7	1	0	0
26年 1月	36	11	6	10	6	2	1	0
26年 2月	43	17	8	6	11	1	0	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
25年 1月	86.2	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	86.9	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	90.3	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	89.2	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	88.2	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	89.8	1.1	94.7	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	93.1	3.3	97.9	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	88.2	-5.5	97.0	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	91.3	3.5	98.3	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月	93.5	2.0	99.3	1.0	364	35.3	3.5	3,719	34.8	7.1
11月	94.5	0.0	99.4	0.1	313	8.1	4.9	4,017	44.5	14.1
12月	95.7	1.3	100.1	0.9	241	25.6	7.5	4,238	32.7	18.0
26年 1月	107.5	3.0	103.9	3.8	157	-14.2	28.8	2,504	16.2	12.3
2月					193	60.5	3.7			
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	2,058	14.6
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,509	16.6
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,627	11.3
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,331	11.7
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,341	7.7	2,473	9.5
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0	4,382	2.6	2,600	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	-0.4	4,507	111.8	2,643	14.0
11月	14,661	22.0	16.7	183	-0.9	2.6	4,293	13.0	2,499	10.0
12月	13,905	22.6	26.5	251	-2.7	1.9	p 4,653	4.7	p 2,494	16.7
26年 1月	17,055	27.5	30.6	187	-2.7	3.2	p 3,542	0.6	p 2,982	25.8
2月	20,071	18.5	18.8	147	2.8		p 4,442	15.0	p 2,106	2.3
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
25年 1月	0.70	0.84	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月	0.77	0.98	1,048	0.1	100.8	1.5	100.7	1.2	100.7	1.1
11月	0.78	1.00	1,051	0.2	101.0	1.2	100.7	1.8	100.8	1.5
12月	0.82	1.03	1,050	0.3	101.7	1.3	100.8	1.9	100.9	1.6
26年 1月	0.83	1.04	1,043	0.4	100.4	1.0	100.3	1.6	100.7	1.4
2月							100.2	1.5		
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5	151,258	1.0	1.277	49	47	17	11	21
11月	102.5	2.6	152,669	1.7	1.271	48	157	20	15	13
12月	102.8	2.5	153,631	1.5	1.258	33	41	14	6	13
26年 1月	103.0	2.5	152,338	1.3	1.254	36	38	11	6	19
2月	102.8	1.8				43	33	17	8	18
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値